

総合実習 I

科目ナンバリング SPS-316

選択 1単位

本郷 仁吾・佐野村 学

1. 授業の概要(ねらい)

各自が特に学びたいスポーツ分野を選択し、そこでこれまでに学んだ知識・技術の上に、種目特異性の知識を深め、現場のニーズに合ったAT活動ができているか、また、実習先で適切なコミュニケーション・リーダーシップをとれているか
※3年生前期のスポーツ現場実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを修得していること、春休みに開催される報告会への参加を単位認定の条件とする。

2. 授業の到達目標

- ・傷害の予防策を行えている
- ・救急処置に対して、準備を行えている
- ・アスリハの立案・実施が適切に行えている
- ・傷害の評価を適切に行えている
- ・トレーナーとして、様々な状況に対して適切に、対応できている

3. 成績評価の方法および基準

実習への参加意欲・活動(50%) レポート(25%) 報告会発表(25%)

4. 教科書・参考文献

教科書

- 『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割』
- 『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②運動器の解剖と機能』
- 『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト③スポーツ外傷・障害の基礎知識』
- 『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト④健康管理とスポーツ医学』
- 『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤検査・測定と評価』
- 『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥予防とコンディショニング』
- 『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション』
- 『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑧救急処置』
- 『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑨スポーツと栄養』

参考文献

『JATIトレーニング指導者テキスト全2巻』

5. 準備学修の内容

今まで学んできたATに関する授業を復習し、理解を深めておくこと
実際の現場で活動ができるよう復習しておくこと

6. その他履修上の注意事項

十分な心構えをもって参加すること。
中途半端な気持ちでの参加はやめてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスほか
- 【第2回】 ATの役割
- 【第3回】 現場に必要な解剖学について
- 【第4回】 現場に必要なスポーツ外傷
- 【第5回】 現場に必要な健康管理
- 【第6回】 現場に必要な検査・測定と評価
- 【第7回】 現場に必要な予防とコンディショニング
- 【第8回】 現場に必要なアスレティックリハビリテーション
- 【第9回】 現場に必要な救急処置
- 【第10回】 現場に必要な栄養学
- 【第11回】 競技特性を考えたトレーナー活動
- 【第12回】 競技の傷害傾向やその予防策
- 【第13回】 症例を考える
- 【第14回】 現場でのトレーナー活動を考える
- 【第15回】 症例報告と総評

それぞれの授業では現場での実習を行いながら学んでいく